

**2017年12月期
第3四半期決算資料**



ダイトロン株式会社

証券コード：7609

連結決算概要について (業績結果および業績予想)



連結業績結果

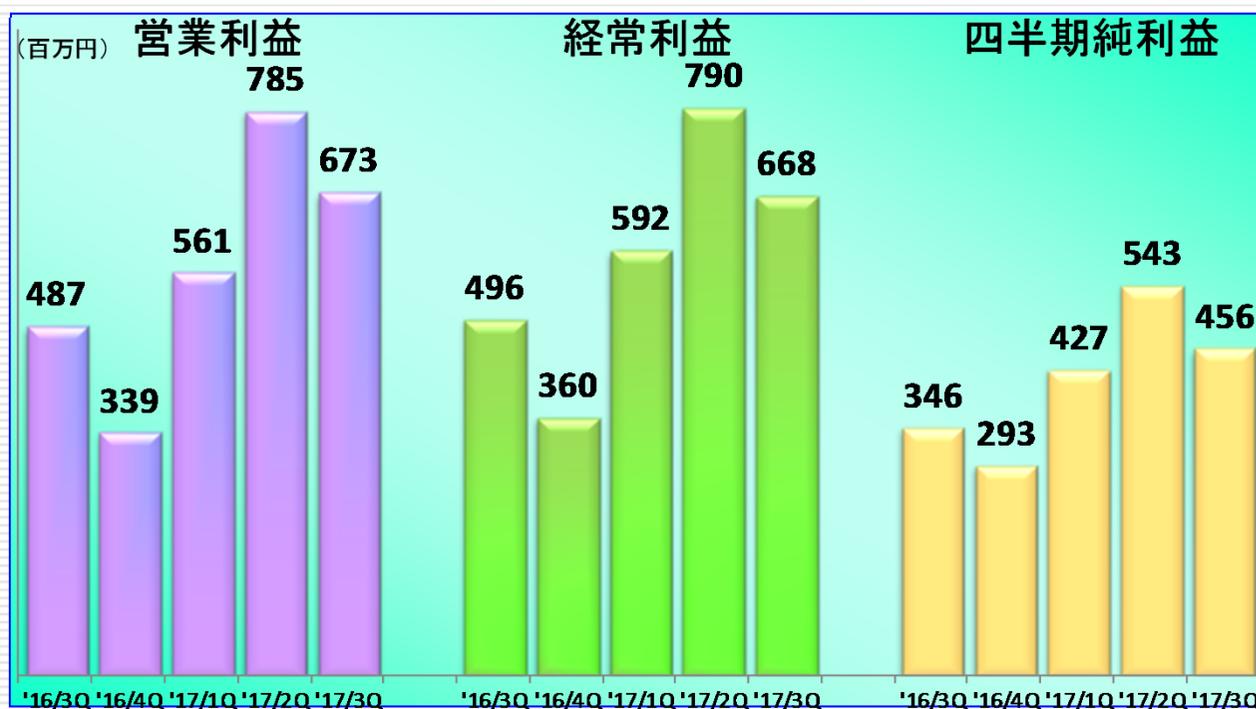
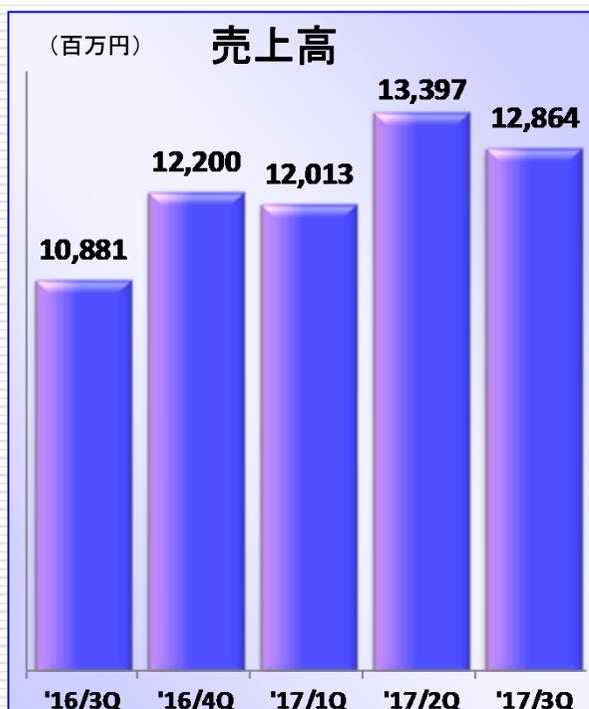


■ **売上高** **38,275百万円**
(累計)
(前年同期比 116.9%)

■ **営業利益** **2,021百万円**
(累計)
(前年同期比 128.7%)

■ **経常利益** **2,051百万円**
(累計)
(前年同期比 136.5%)

■ **四半期純利益** **1,426百万円**
(累計)
(前年同期比 154.5%)



連結業績概要（累計）



(百万円)	2016年12月期 第3四半期	2017年12月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
売上高	32,731	38,275	5,544	16.9
営業利益	1,570	2,021	451	28.7
経常利益	1,502	2,051	549	36.5
親会社株主に帰属 する四半期純利益	923	1,426	503	54.5

連結財政状態

Daitron

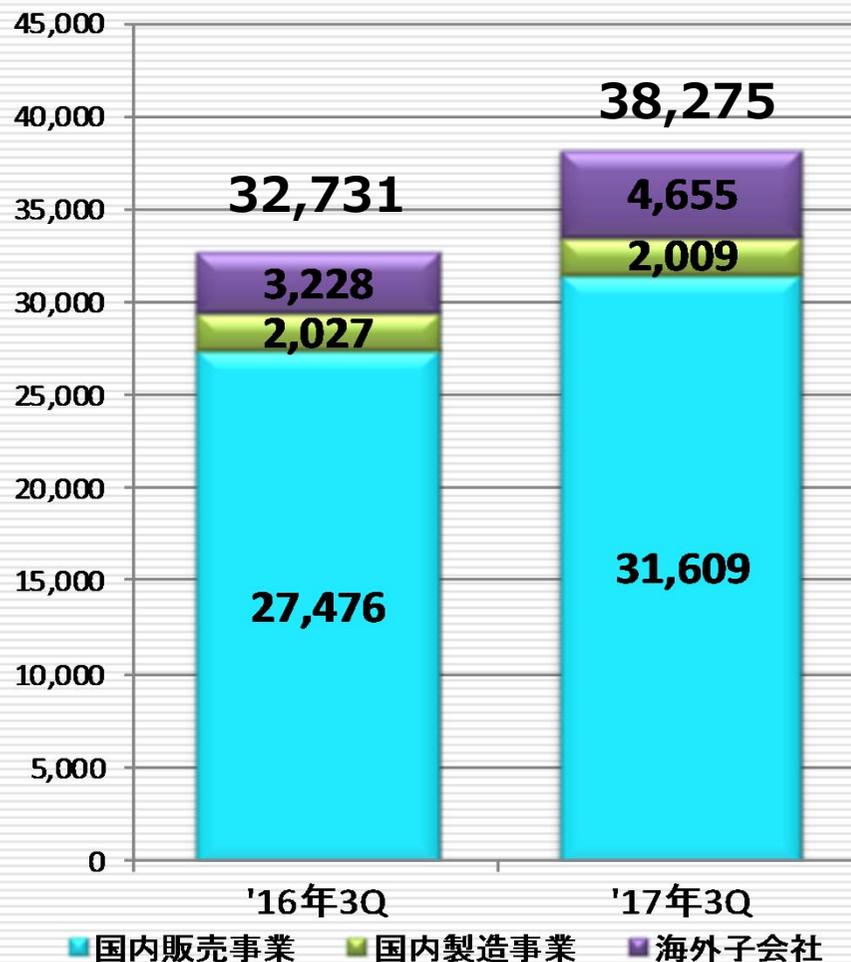
(百万円)	2016年12月期	2017年12月期 第3四半期	増減額
総 資 産	32,068	33,872	1,804
負 債 合 計	18,153	18,946	793
株 主 資 本	13,844	14,698	854
純 資 産	13,914	14,926	1,012
自己資本比率	43.4%	44.1%	0.7pt

報告セグメント別概況推移



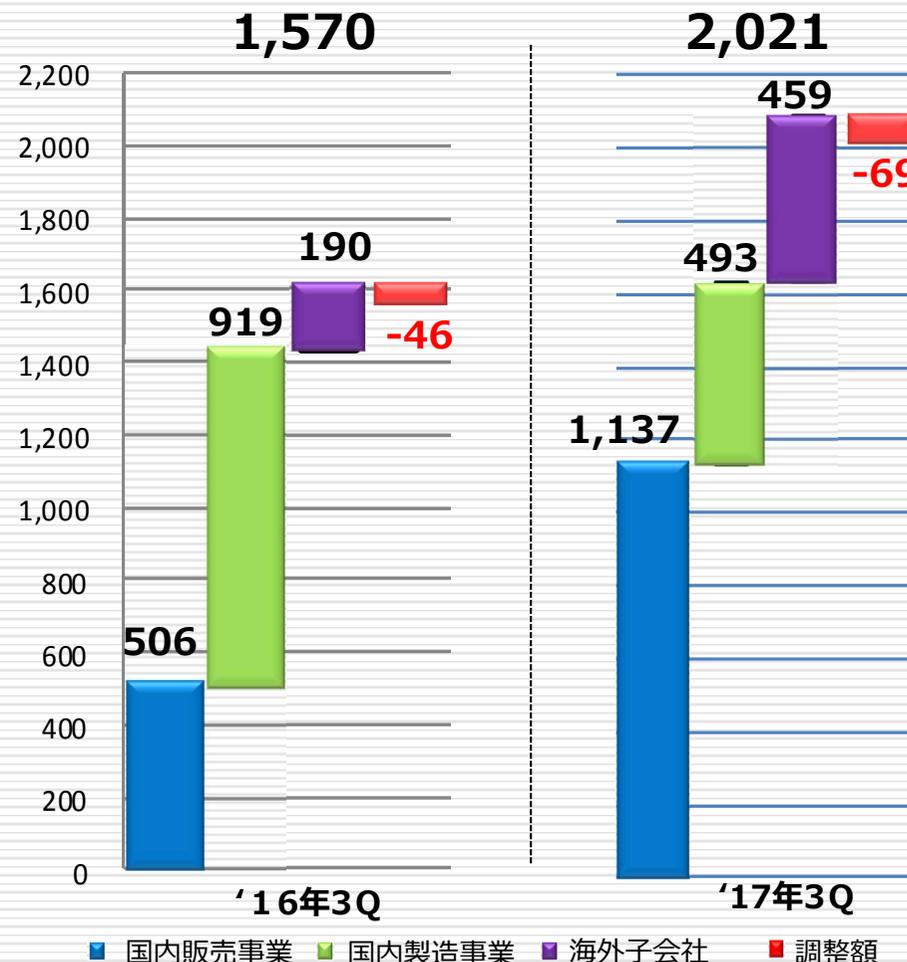
売上

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



(注)セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販管費及び一般管理費です。

報告セグメント別概況

売上

(百万円)	2016年12月期 第3四半期	2017年12月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
国内販売事業	27,476	31,609	4,133	15.0
国内製造事業	2,027	2,009	-18	-0.9
海外子会社	3,228	4,655	1,427	44.2

営業利益

(注) セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販管費及び一般管理費です。

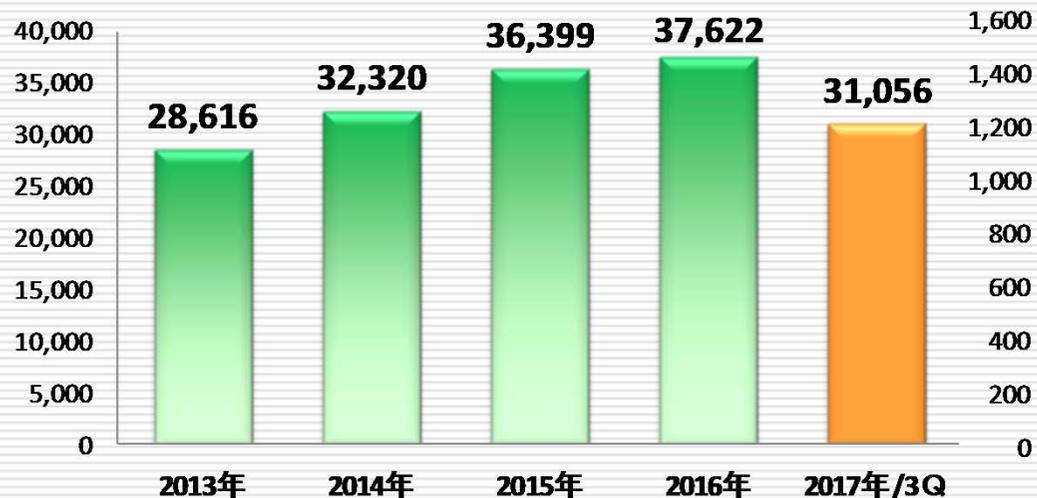
(百万円)	2016年12月期 第3四半期	2017年12月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
国内販売事業	506	1,137	631	124.4
国内製造事業	919	493	-426	-46.4
海外子会社	190	459	269	141.2
調整額	-46	-69	—	—

地域別 売上高推移

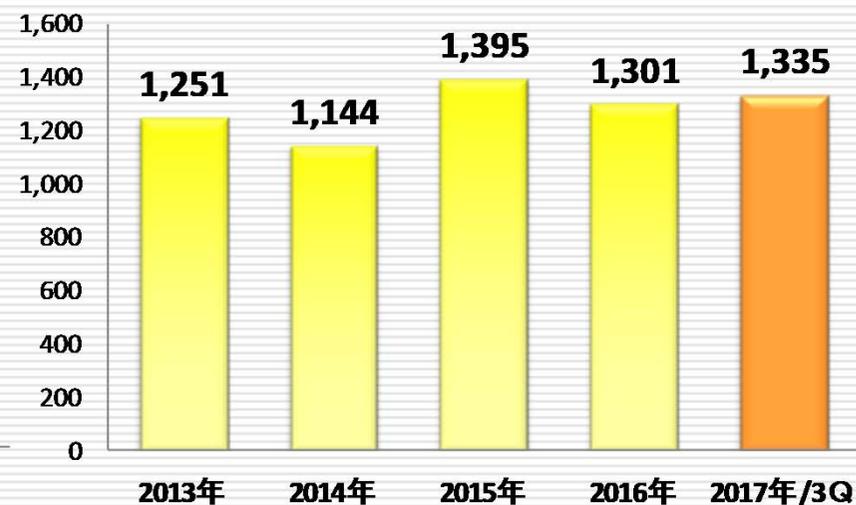


(単位:百万円)

国内



北米



アジア



欧州



地域別 売上高

(百万円)		2016年12月期 第3四半期	2017年12月期 第3四半期	増減額
国	内	28,421	31,056	2,635
海	外	4,310	7,218	2,908
()	内は売上高比率	13.2(%)	18.9(%)	5.7(pt)
	北 米	947	1,335	388
	欧 州	135	100	-35
	ア ジ ア	3,226	5,782	2,556
合	計	32,731	38,275	5,544

商品セグメント 四半期別業績推移



電子機器及び部品関連 (累計)

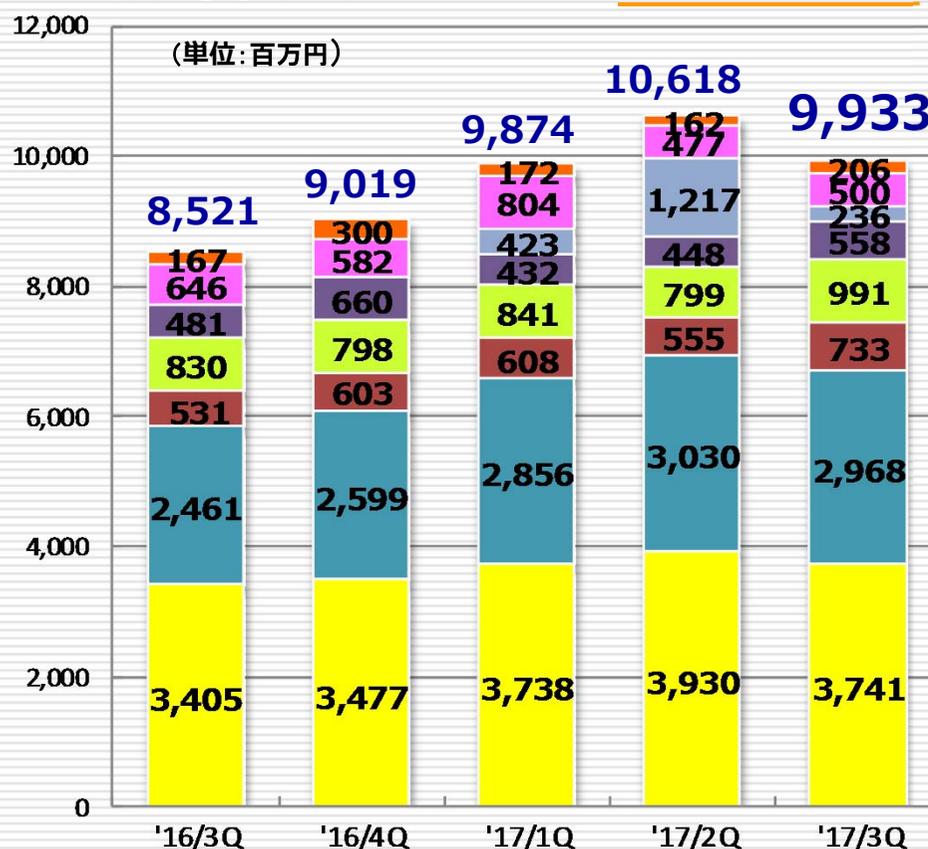
製造装置関連 (累計)

■ 売上高 **30,426百万円**

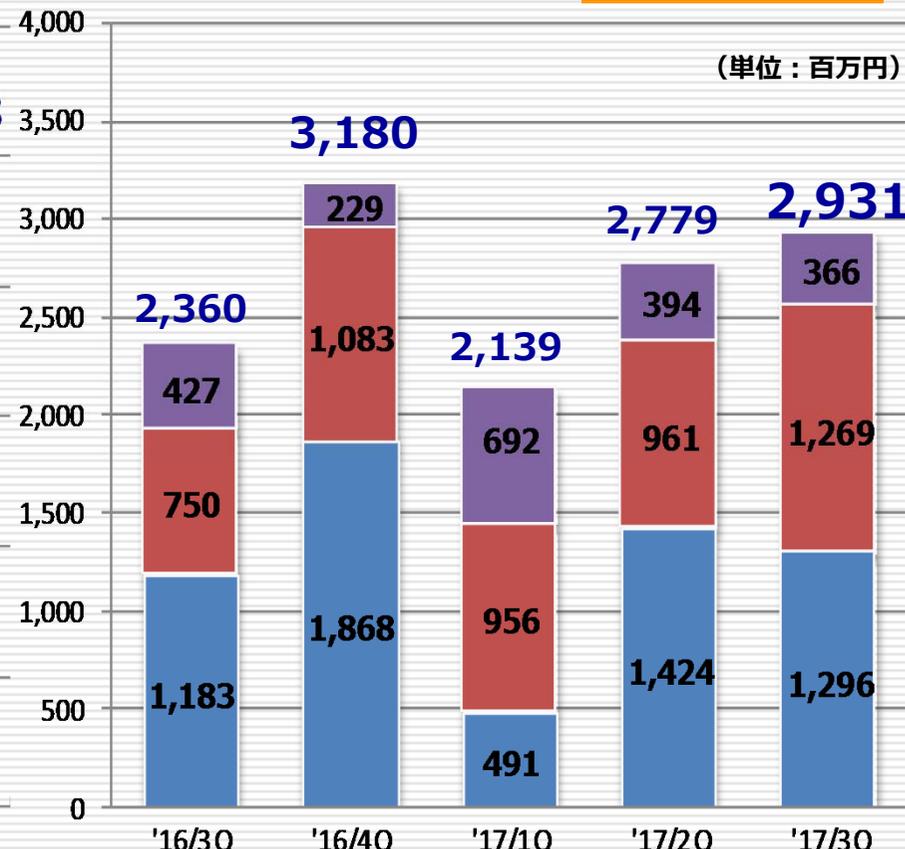
■ 売上高 **7,849百万円**

◆ 前年同期比 **116.6%**

◆ 前年同期比 **124.2%**



- 電子部品&アセンブリ
- エンベデッド
- 情報システム
- 画像関連機器・部品
- 電源機器
- 電子機器・部品のその他
- 半導体
- グリーン・ファシリティ



- 半導体・FPD製造装置
- 電子部品製造装置
- 製造装置その他

商品セグメント別 売上高

(百万円)		2016年12月期 第3四半期	2017年12月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
電子機器及び部品関連	部品 & アセンブリ	10,308	11,409	1,101	10.7%
	画像関連機器・部品	7,063	8,853	1,790	25.3%
	半導体	1,228	1,896	667	54.3%
	インハテット	2,260	2,631	371	16.4%
	電源機器	1,674	3,314	1,640	98.0%
	情報システム	1,824	1,783	-41	-2.2%
	電子機器・部品のその他	583	540	-43	-7.4%
製造装置関連	半導体・FPD製造装置	3,742	3,211	-532	-14.2%
	電子部品製造装置	2,999	3,186	187	6.2%
	製造装置その他	1,050	1,452	402	38.3%

当社の事業構造



事業	商品セグメント別	売上高構成比	総利益率	オリジナル 製品比率	海外売上比率	
電子機器・部品	電子部品&アセンブリ部品	29.8%	24.1%	24.3% (前年同期: 24.7%)	北米 3.5% (前年同期 2.9%)	
	画像関連機器・部品	23.1%	17.7%			
	半導体	5.0%	21.8%			
	エンベデッドシステム	6.9%	15.1%		24.3% (前年同期: 24.7%)	欧州 0.3% (前年同期 0.4%)
	電源機器	8.7%	24.6%			
	情報システム	4.7%	26.1%			
	電子機器・部品のその他	1.4%	12.2%			
製造装置	半導体・FPD製造装置	8.4%	23.3%	24.3% (前年同期: 24.7%)	アジア 15.1% (前年同期 9.9%)	
	電子部品製造装置	8.3%	34.8%			
	製造装置その他	3.8%	13.3%			
全 体		100.0%	22.3% (前年同期: 22.9%)	24.3% (前年同期: 24.7%)	18.9% (前年同期: 13.2%)	

■ は、当社オリジナル製品を含んだ商品セグメントとなっております。

通期連結業績見通し

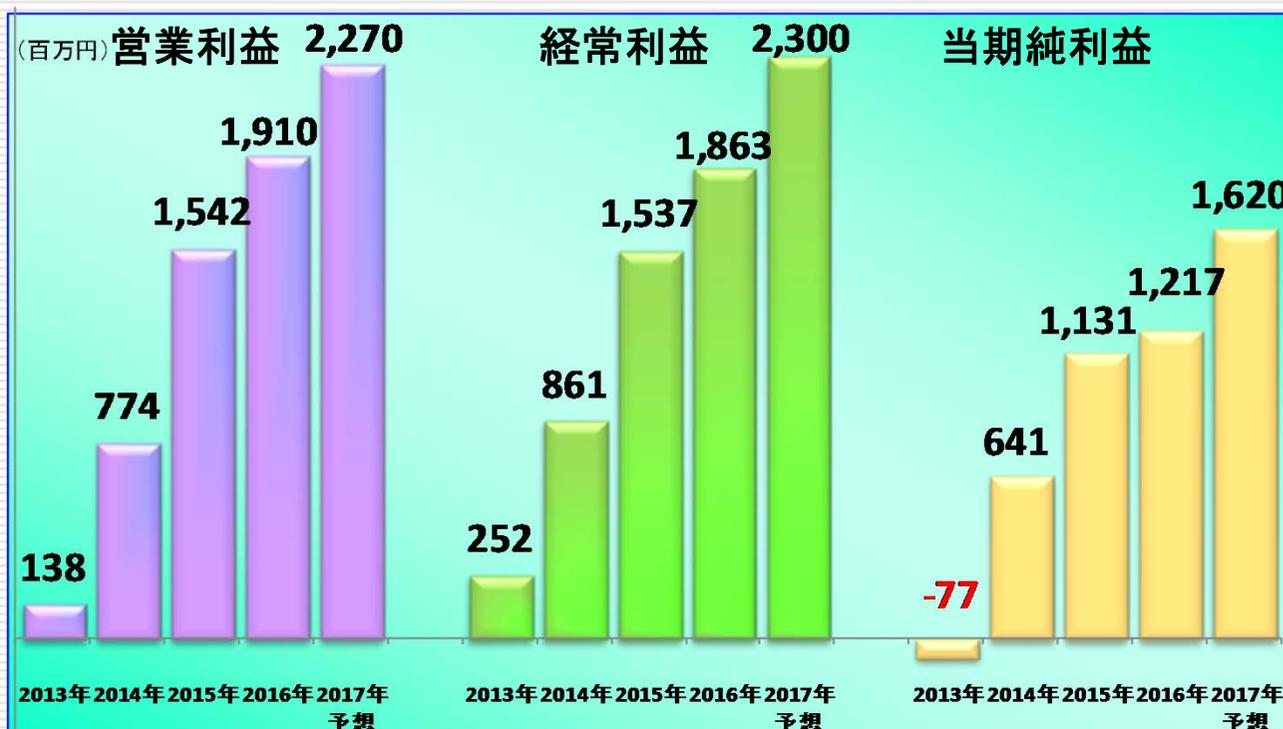
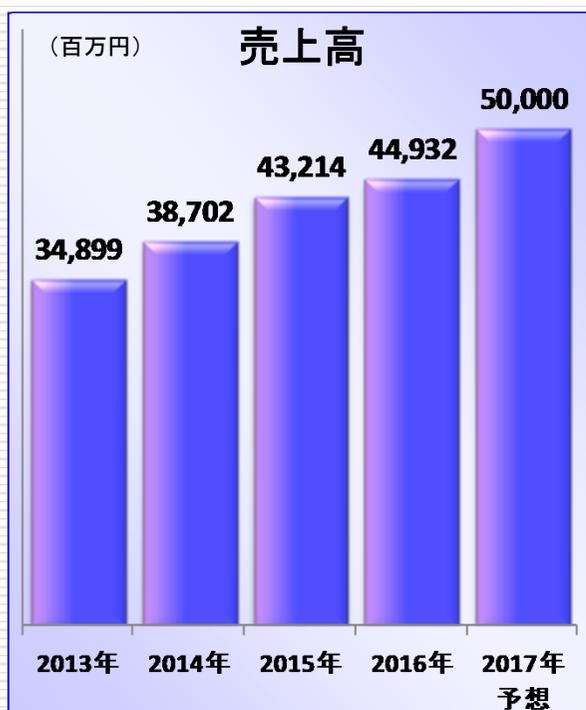


■ **売上高** 50,000百万円
(前年比 111.3%)

■ **営業利益** 2,270百万円
(前年比 118.8%)

■ **経常利益** 2,300百万円
(前年比 123.4%)

■ **当期純利益** 1,620百万円
(前年比 133.1%)



通期連結業績見通し



(百万円)	2016年 12月期 通期業績実績	2017年12月期		増減率	
		期初計画	修正計画(8/2)	前期比	期初比
売上高	44,932	47,500	50,000	11.3%	5.3%
営業利益	1,910	1,920	2,270	18.8%	18.2%
経常利益	1,863	1,920	2,300	23.4%	19.8%
親会社株主に 帰属する 純利益	1,217	1,350	1,620	33.1%	20.0%
1株当たり 純利益	109.62 円	122.29 円	146.75 円	—	—

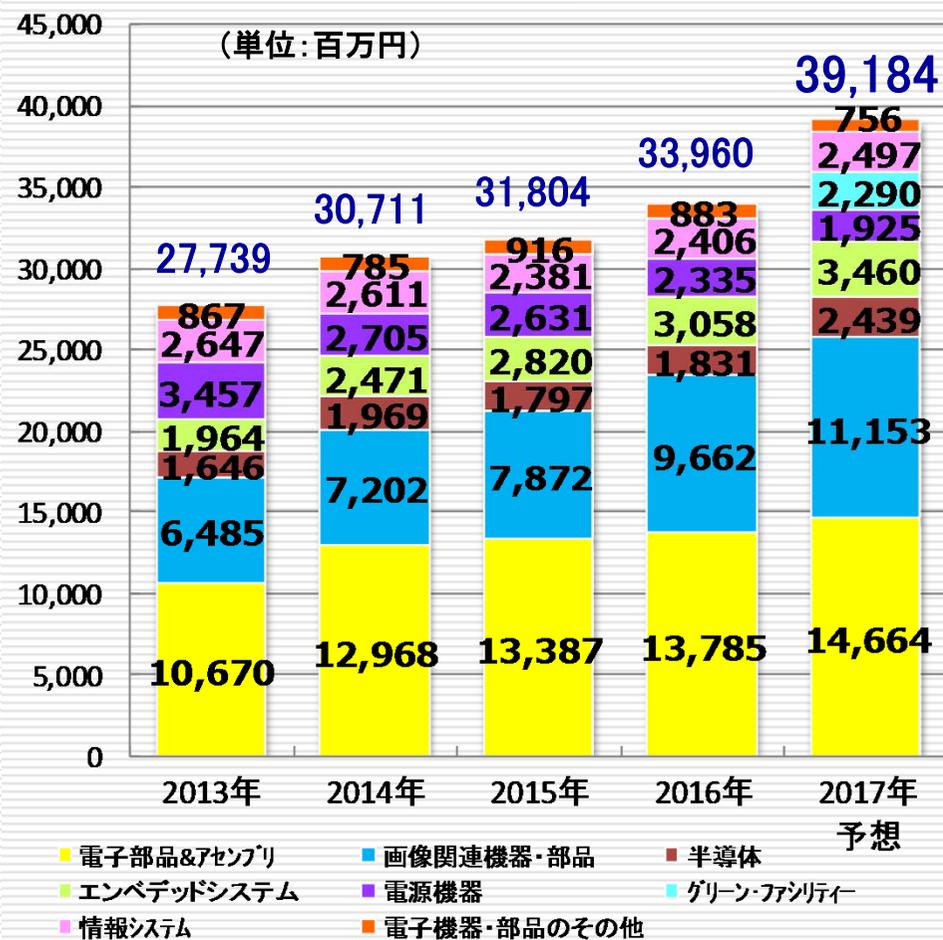
商品セグメント別 通期業績見通し



電子機器及び部品関連

■売上高 **39,184百万円**

◆前年比 **115.4%**



製造装置関連

■売上高 **10,815百万円**

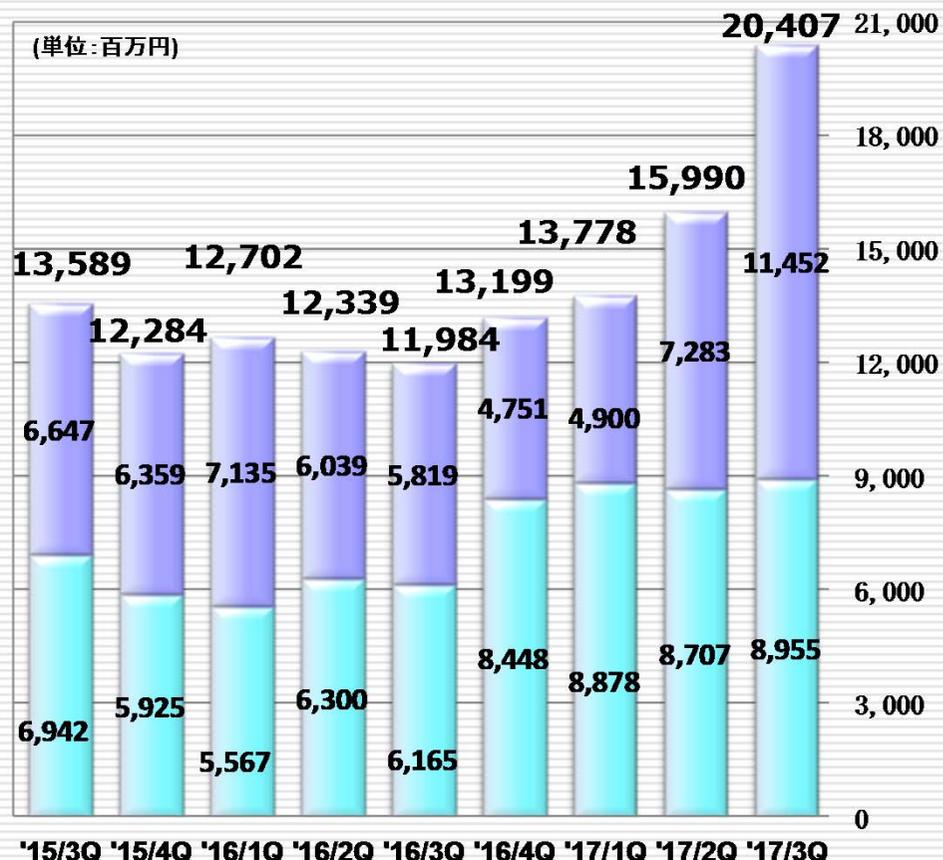
◆前年比 **98.6%**



商品セグメント別 四半期 連結受注高・受注残高推移 Daitron

受注高

受注残高



■ 電子機器及び部品 ■ 製造装置

※2017年3Q時点で受注残高が200億円を超えておりますが、2019年度以降の納期が約60億円（電子機器及び部品 約2億円 製造装置 約59億円）となっております。

配 当

	第2四半期末	期 末	年間配当	当初予想	配当性向
2013年 12月期	0円	5円	5円	10円	—
2014年 12月期	0円	15円	15円	5円	25.98%
2015年 12月期	0円	25円	25円	15円	24.53%
2016年 12月期	0円	30円	30円	20円	27.37%
2017年 12月期 予想	15円	20円	35円	30円	23.85%

※2017年12月期より中間配当を実施

※2017年配当性向は、3Q末時点の株式数を基に算出しております。

第9次中期経営計画（9M）



新 グループ・ステートメント

Creator for the **NEXT**

エレクトロニクス業界を担う企業として
グループのネットワークを活かし

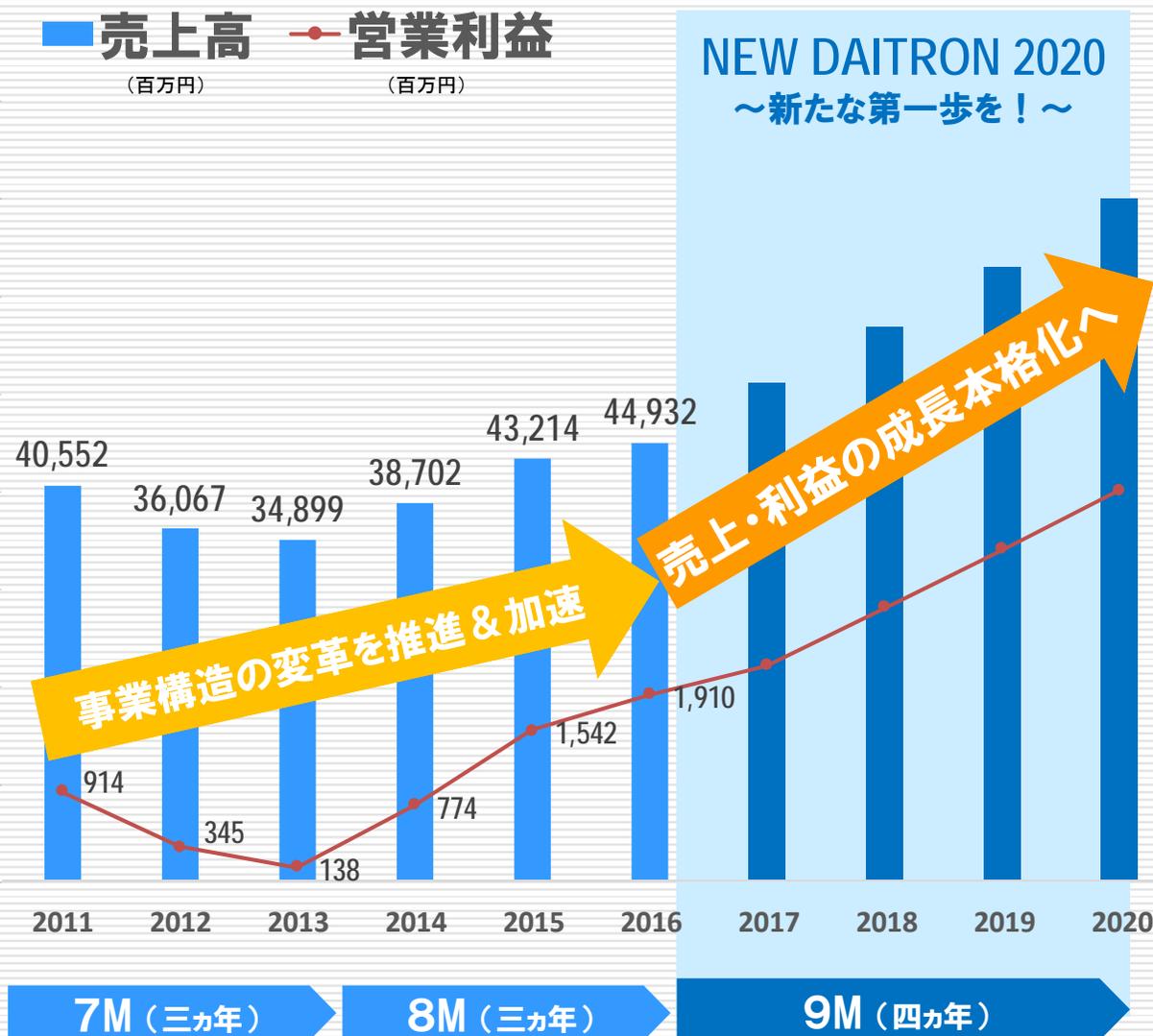
新しい価値をクリエイトする

目指す姿

- 製販が融合した他に類を見ないユニークな企業
- 業界にとってなくてはならない特徴ある技術・製品を有する企業
- 社員にとって働き甲斐があり、誇りに思える企業
- 一致団結の強さと同時に自律能動的に動く組織

数値目標（連結）

■ 売上高 (百万円) ● 営業利益 (百万円)



【2020年 数値目標】

売上・利益の持続的な
成長により
過去最高実績を越えて
更に先の成長を目指す

【目標とする経営指標】

自己資本比率

50%

ROA

4%

ROE

8%

5つの事業戦略

- 1 成長性重視の事業の再構築を推進**
- 2 オリジナル製品開発の強化**
- 3 海外ビジネス展開の強化**
- 4 マーケティング力と営業力の向上**
- 5 生産部門の統合強化**

1 成長性重視の事業の再構築を推進 *Daitron*

成長が有望視される
新市場

自動車

医療

インフラ

ロボット関連技術

航空・宇宙

新市場
開拓

事業の
再構築
を推進

2 オリジナル製品開発の強化 *Daitron*

オリジナル製品

Daitron

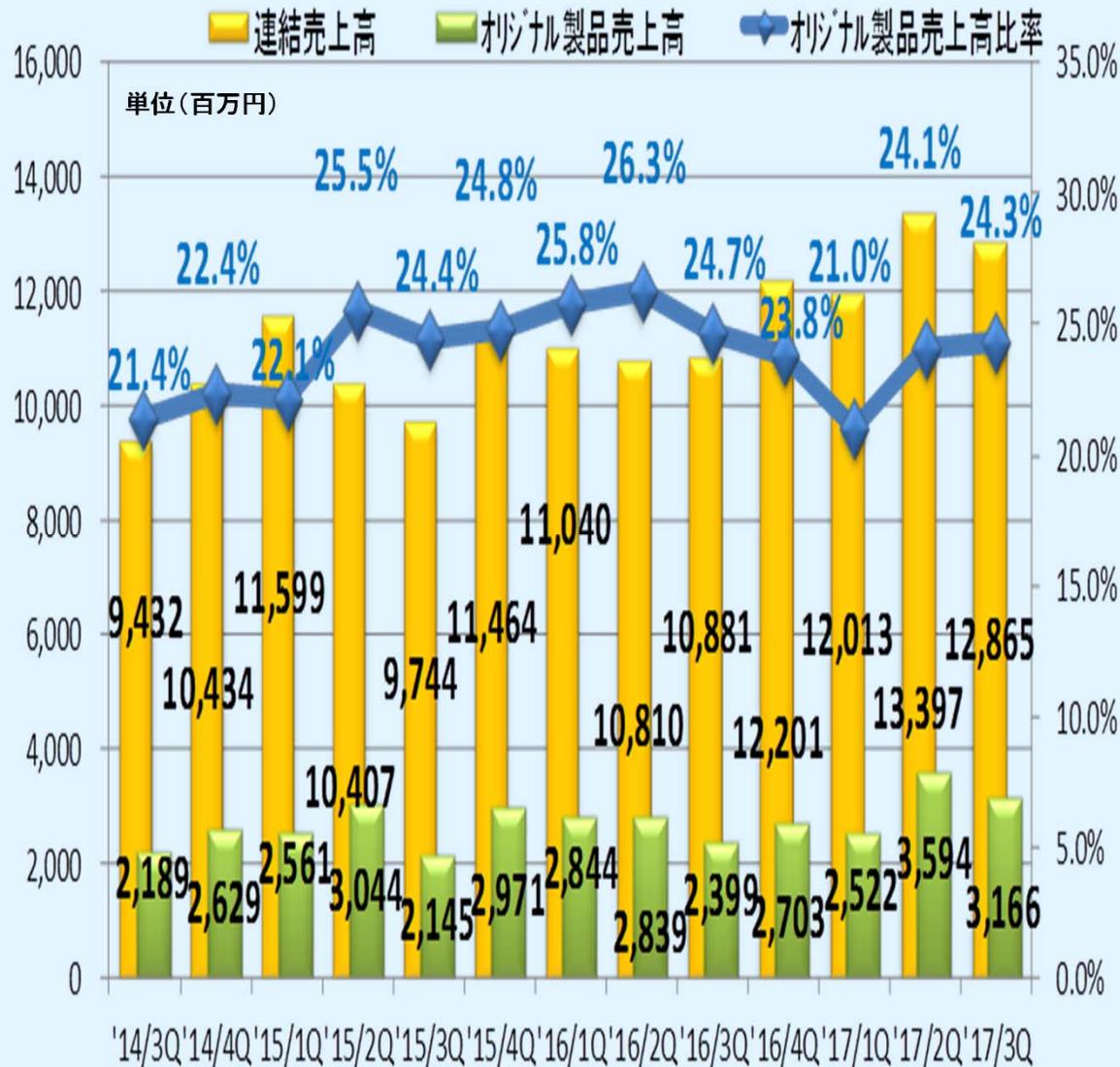
当社のオリジナルブランド

- 電子機器・部品関連
- 製造装置関連

開発
拡充

収益力の
更なる
強化

2 オリジナル製品開発の強化 **Daitron**



オリジナル製品比率
(売上高ベース)
2020年 30%を目指す

戦略ポイント

- 「事業ユニット」に基づく強化・拡大戦略を展開**
- ⇒ 事業ユニットを増やす
 - ⇒ 各事業ユニットの規模を拡大する (1ユニット当たり10~20億円を目指す)
 - ⇒ 仕入先との連携によるラインナップ強化を図る

3 海外ビジネス展開の強化

電子機器・部品関連
の安定的な売上拡大

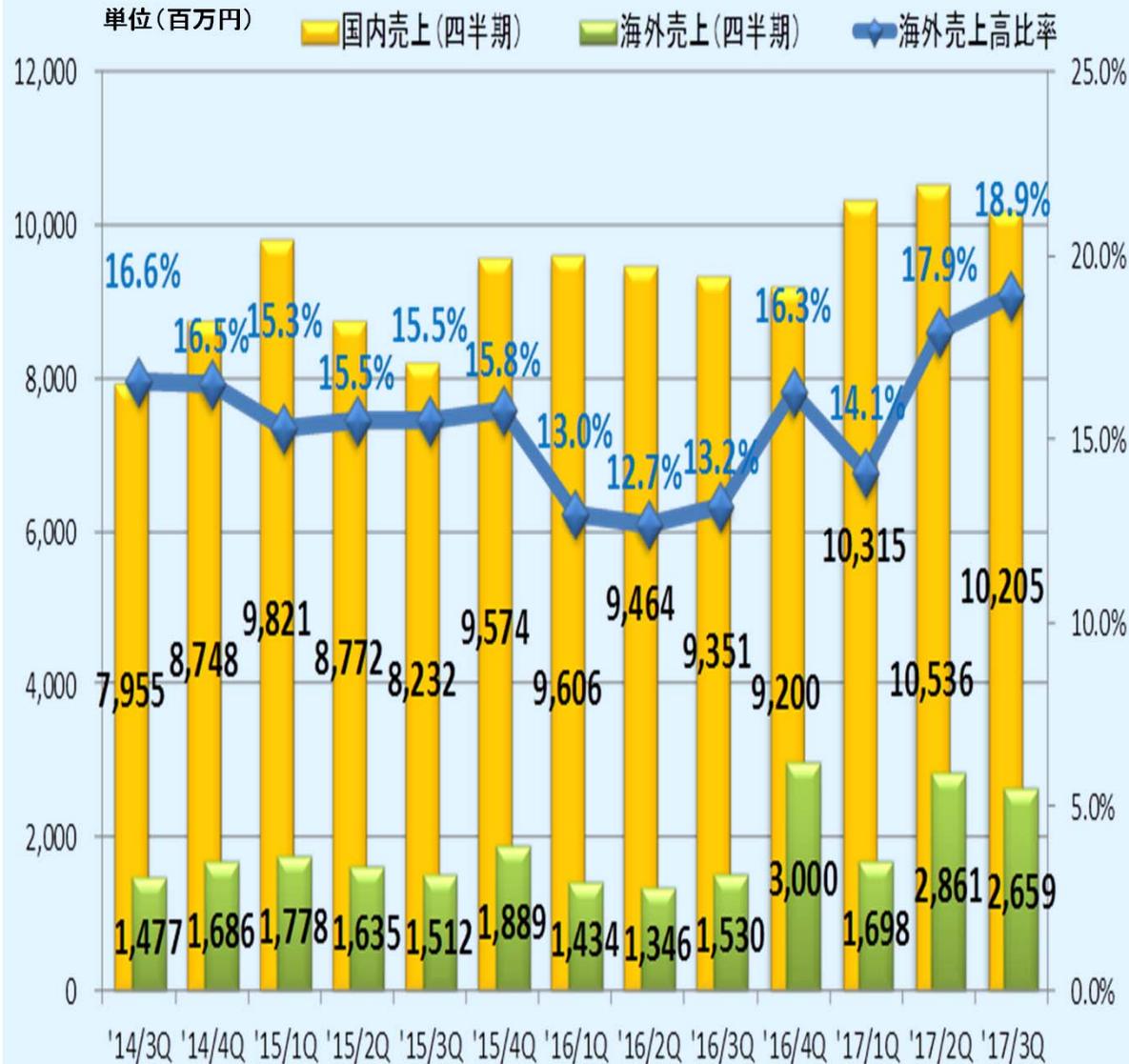
海外市場における
顧客の拡大

当社の海外ネットワークを活かした
多国間ビジネスの拡大

積極化

海外
ビジネス
拡大

3 海外ビジネス展開の強化 **Daitron**



海外売上高比率
(売上高ベース)
2020年 30%を目指す

- 戦略ポイント**
- 地域に密着したビジネス展開を目指す**
- ⇒ ローカル企業との取引拡大
 - ⇒ 電子部品ビジネスの拡大
 - ⇒ アウト-アウト ビジネスの拡大
 - ⇒ 地域独自のビジネス推進
 - ⇒ ネットワークの拡充

4 マーケティング力と営業力の向上 *Daitron*

国内外ネットワークの拡充

&

国内外における展示会展開強化

市場
プレゼンス
向上



5 生産部門の統合強化 *Daitron*

中部工場

(愛知県一宮市)

ダイترونグループの基幹工場



【第1期】電子機器・部品関連生産体制
⇒ 平成28年11月～稼働

【第2期】装置関連生産体制
⇒ 平成30年の稼働開始（予）

生産と開発の
中核拠点
として強化

「製販融合路線」による
“**エレクトロニクス業界の技術立社**”として
独自の進化を図り
高成長・高収益の実現を目指す

この資料で述べられている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

当社が位置するエレクトロニクス業界の電子機器・部品産業並びに製造装置産業は、テクノロジーの変化やスピードが大変速く、競争の激しい産業です。また、北米やアジア諸国の経済情勢など、当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

従いまして、今後、当社の業績の見通しが本資料と異なる可能性があることをお含みおき下さい。

《本資料並びに I R に関するお問い合わせ先》

経営システム部 広報・I R 担当

TEL : 06-6399-5952

FAX : 06-6399-5962

e-mail : kouhou@daitron.co.jp